

# 長岡地区河川防災ステーション開所式について

## ～ 信濃川河川事務所管内ではじめての開所～

令和6年6月9日（日）に信濃川河川事務所管内として、はじめてとなる長岡地区河川防災ステーションが開所します。開所に先立ち、午前10時より開所式を執り行います。

### ○長岡地区河川防災ステーション開所式

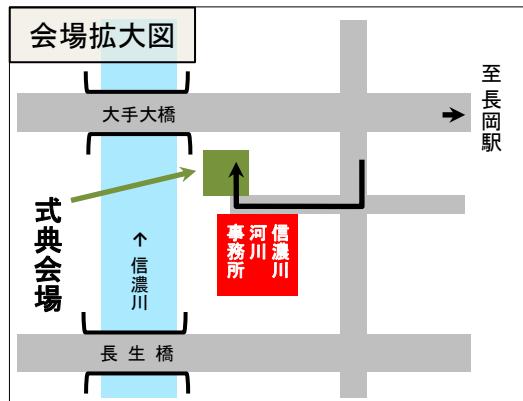
1. 日 時 令和6年6月9日（日）  
10時00分～11時00分
2. 場 所 長岡市信濃2丁目地先
3. 主 催 北陸地方整備局 信濃川河川事務所  
長岡市
4. 式典概要 式辞、祝辞、事業報告、くす玉開披

### ○オープニングイベント 『防災講座』

参加者：長岡市立中島小学校6学年児童

1. 日 時 令和6年6月9日（日）  
11時00分～14時00分
2. 場 所 長岡市信濃2丁目地先
3. 主 催 北陸地方整備局 信濃川河川事務所  
長岡市
4. 主な内容 防災講座  
①防災備蓄講座  
②防災食講座  
③わが家の防災タイムライン講座  
④地震体験車および降雨体験車  
⑤災害対策車両展示  
⑥防災パネル展示

※取材にお越しの際は事前に別添申込書の送付をお願いいたします。



### 河川防災ステーションとは ～洪水時の緊急対応拠点～

洪水時に市町村が行う水防活動を支援し、水害が発生した場合には緊急復旧などを迅速に行う基地となるとともに、平常時には地域の人々の交流や憩いの場として、また河川を中心とした文化活動の拠点として活用される施設です。

#### 同時発表記者クラブ

新潟県政記者クラブ、新潟県政記者クラブ、  
長岡市記者会、長岡地域記者会、三条市記者室、  
十日町記者クラブ、小出郷新聞、小千谷新聞、  
越南タイムス、FMゆきぐに、エフエム魚沼、  
業界専門紙

#### 問い合わせ先

【開所式関係】北陸地方整備局 信濃川河川事務所  
広報担当 建設専門官 熊倉 敦博  
電話:0258-32-3020  
FAX:0258-33-8168  
【イベント関係】長岡市 土木部  
河川港湾課長 川瀬 一  
電話 0258-39-2233

F A X 番号 0 2 5 8 - 3 3 - 8 1 6 8

または

メー ル shinano@hrr.mlit.go.jp

信濃川河川事務所 流域治水課 熊倉 行き

## 長岡地区河川防災ステーション開所式 事前申込書

取材を希望される報道機関の方は、必要事項を記入いただき、F A Xまたはメールの送付をお願いいたします。

F A X ・ メール送付期限 6月7日（金）12時まで

1. 会社名 \_\_\_\_\_

2. ご氏名 \_\_\_\_\_  
(代表者のみ)

3. 連絡先 \_\_\_\_\_

4. 人 数 (代表者を含む) \_\_\_\_\_ 人

5. テレビカメラの有無 有 ・ 無  
「有」を選択した場合 \_\_\_\_\_ 台

※報道機関の受付は9時00分から開始します。



河川防災ステーションは、洪水時に市町村が行う水防活動を支援し、水害が発生した場合には緊急復旧などを迅速に行う基地になるとともに、平常時には地域の人々の交流や憩いの場として、また河川を中心とした文化活動の拠点として活用される施設です。

長岡地区河川防災ステーションは信濃地区と左近町地区の2箇所に分かれています。

信濃地区は、国土交通省が基盤整備や災害対策車輛等を、長岡市が水防センターを整備し、**国と長岡市の情報共有及び水防活動の拠点**となります。

左近町地区は、国土交通省が災害対策車輛庫、緊急復旧資材やヘリポートを整備し、**洪水時の資材備蓄の拠点**となります。

もしもに備えながら、  
**普通**に利用する。

信濃地区の水防センターは、洪水時の資材の一部も備蓄します。また、防災学習の拠点や各種イベントでの活用、川側にある広い河川敷はレクリエーションでの利活用が期待されます。左近町地区は、主に洪水時の資材を備蓄します。



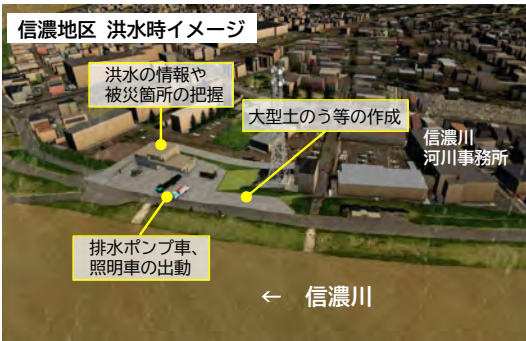
備蓄資材		
	種別	規模
信濃	土砂	900m <sup>3</sup>
	コンクリートブロック	985個
左近町	土砂	16,000m <sup>3</sup>
	玉石	2,800m <sup>3</sup>



**備蓄資材**  
**使用例**  
 コンクリートブロック：堤防や河床の侵食・洗掘部に投入し、侵食・洗掘の拡大を防ぎます。  
 土砂・玉石：堤防や護岸等の被災時に復旧材料として使用します。

**水害時は、日常を取り戻すための拠点となる。**

水害時、信濃地区は水防センターとして様々な情報収集を行いながら、**水防の活動拠点**となります。左近町地区では、備蓄資材の運搬やヘリコプターの離発着が行われます。



## 排水ポンプ車



台風や集中豪雨により宅地や道路が冠水した際、被害を最小限に抑えるためにあふれた水をくみ上げて川に排水する車両です。

1分間に30m<sup>3</sup>の水を排水することが可能です。  
 (揚程10m時)  
 【例：25mプールの水を13分で空にする能力があります。】

●排水ポンプの性能  
 30m<sup>3</sup>/min (ポンプ単独時 全揚程10m)  
 15m<sup>3</sup>/min (ポンプ連結時 全揚程20m)  
 5.0m<sup>3</sup>/min×6台



## 照明車



2本の伸縮ポールの先に取り付けられた照明ランプにより、夜間の復旧作業が可能になります。

電源は車両荷台に搭載した発動発電機により供給します。

照明は、300m先で新聞を読む事ができる程度の明るさで照らすことが可能です。

●照明装置  
 照明灯出力 1.3kW×3灯×2組  
 ランプ型式 LEDランプ

